

京都大学教育改革戦略本部 特定教授または特定准教授 募集要項

令和8年6月23日

職 種	特定教授または特定准教授
募集人員	1 名
所 属	京都大学 教育改革戦略本部
勤務場所	京都大学 教育改革戦略本部（所在地：京都市左京区吉田本町） （変更の範囲）大学が在宅勤務を許可又は命じた場合は自宅等
職務内容	京都大学 教育改革戦略本部・教育改革企画室・国際教育推進部門(※)にて、本学の国際共修教育、国際的人材育成教育の促進に係る以下の業務を主に担当する。 (1) 海外大学と連携し、国内学生の短期海外派遣プログラムの企画・運営を行う。 (2) 研究インターンシップを含む海外からの学生の短期受入プログラムの企画・運営を行う。 (3) 学内の専門分野の異なる教員と連携し、英語で学ぶ専門科目の設計や国際共修教育のカリキュラムをコーディネートする上で中心的な役割を果たす。 (4) 教養・全学共通科目、大学院共通教育科目、Kyoto University International Undergraduate Program(Kyoto iUP)の予備教育課程の講義を担当する。 (5) 本学における国際共修教育及び国際的人材育成教育の推進に関し、自身の専門分野に基づく研究・調査を行い、その知見を教育実践および事業推進に活用する。 ※国際教育推進部門は、本学における学士課程教育と大学院教育の国際化を格段に強化するための新たな国際共修教育環境の実現に向けた検討を行うことを主たる目的としている。
資格等	上記「職務内容」の遂行に貢献できる以下の条件を全て満たしていること。 (1) 国際的な学生派遣・受入プログラムの実施にあたり、国内外の機関との調整、交渉を主体的に行った経験を有する者。また、国内外の機関とのネットワークのさらなる開拓に意欲を持つ者 (2) 日本語および英語の双方において、講義の実施に加え、教育プログラムの企画・運営、関係者との調整等の業務を遂行できる高度な言語運用能力を有する者。また、多様な背景を有する教職員・学生との協働を円滑に進めるための調整能力およびコミュニケーション能力を有する者 (3) 国際的人材育成のための教授法や学習支援などの教育改善に関わる経験があることが望ましい

	(4) 博士学位取得者、またはそれと同等の学識を有する者 (5) 専門分野において優れた研究能力を有し、業務の遂行に研究的視点が具体的に生かせる者
採用予定日	令和8年12月1日以降のできるだけ早い時期（それ以前の勤務開始は応相談）
任 期	採用決定後できるだけ早い時期から令和9年3月31日まで。（雇用期間満了後、更新する場合あり。ただし、最長令和13年3月31日まで） ※契約の更新は、契約期間満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、従事している業務の進捗状況、経営状況、雇用されている外部資金の受入れ状況等を勘案して判断する。
試用期間	あり（6か月：本学教職員就業規則に基づく）
雇用形態	・ 専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当） ・ 専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、週5日8:30～17:15勤務（休憩12:00～13:00）。超過勤務を命じる場合あり ・ 休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日
給与・手当	給与：本学支給基準に基づき支給（年俸制）、手当：なし
社会保険 福利厚生	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入

応募方法	【必要書類】 ※様式は任意。ただし、日本語で記載すること。 (1) [履歴書]：本籍不要。高等学校卒業から記載。所属学会を記載。個人用のメールアドレスや電話番号なども記載。 (2) [教育業績表]：これまでに担当した授業科目（特に英語による科目、国際共修型科目を含む）の実績に加え、カリキュラムの企画・運営、国内外の大学・機関との連携した教育プログラム（短期受入・派遣プログラム等）の企画・実施、教材開発、教科書の執筆、教育改善に係る取組、学生指導の経験等について記載すること。 また、学生の授業評価（過去3年程度）の記録があれば含めること。加えて、「教育の卓越性（Teaching Excellence）」を示す業績（教育賞の受賞、教育プロジェクトの主導経験等）があれば記載すること。 (3) [授業担当可能科目表]：現在、京都大学において提供されている教養・全学共通科目、学部専門科目、大学院共通科目を参考にして、着任後に担当可能な授業科目について、可能な限り具体的に列挙すること。特に、英語による授業（例えば、「英語で学ぶ教養・共通科目（E2科目）」）として担当可能な授業科目、およびKyoto iUP生の予備教育課程を対象とした基礎・導入教育や国際共修型科目として担当可能な授業科目があれば明示すること。 (4) [模擬授業名および概要]：最終面接に進んだ場合の模擬授業（主に1・2回生を対象とする）のタイトルとその概要。 (5) [研究業績表]：「著書」「論文」「その他の業績」などに分け、古い
------	---

	ものから順に記載し、査読の有無を明記すること。印刷中か印刷予定である場合は、そのことを示す文書を添付すること。なお、招待講演や基調講演、口頭発表などは、「その他の業績」に含めてよい。 (6) [貢献展望]:教育に関する理念や方針、大学での教育の実績や組織管理運営の経験を踏まえて、職務内容に記載の職務について、本学の教育にどのように貢献できるかを記載すること。A4版用紙2枚以内にまとめること。 【提出方法】 ・上記(1)～(6)の書類をPDFフォーマットで電子的に作成し、一つにまとめたファイルをJREC-INよりアップロードすること。 ・JREC-INリンク： https://jrecin.jst.go.jp/seek/----
応募締切	令和8年8月17日(月)17時
選考方法	書類選考及び面接試験: 書類選考のうえ、面接を行います。書類選考後、面接対象者には面接日時等の詳細を連絡します。面接の際には、模擬授業を課す場合があります。対面で面接を実施する場合の旅費や滞在費などは応募者の自己負担とします。 なお、選考に対する問合せには応じられません。
問合せ先	京都大学 学務部 学務課 総務掛 E-mail: kyouiku-kaikaku-soumu-k@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp (*を@に変えてください)
その他	・教育改革戦略本部では、研究のための実験室は提供しません。また、学生の研究指導は委託しません。 ・提出していただいた書類は、採用審査にのみ使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。 ・応募のため提出いただいた書類はお返ししませんので、予めご了承ください。 ・国際共修教育および国際的人材育成を推進する観点から、海外での教育研究経験を有する者や外国人数員の積極的な応募を期待します。 ・京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待します。 ・本学における男女共同参画推進施策の一環として、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律(男女雇用機会均等法)第8条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。

	• 本学では教育・研究および就業と家庭生活との両立を支援します。出産・育児・介護などのライフイベントを経験した期間があれば、履歴書に記載して下さい。また、出産・育児・介護期間中の教育・研究業績については、休業期間の前後と等しい業績を上げたものとみなします。 参考：京都大学男女共同参画推進センターHP (https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/) • 京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。
--	--